

ニュースレター No.12

発行：2001年11月

◆育てよう 調布の森

雑木林塾2001年度連続講座が始まります！

調布市には、現在も「武蔵野の雑木林」の面影を残す雑木林が残されています。これらの雑木林を住民が主体となって維持管理していくための基礎的な講座を実施します。

今回の講座は、体験的に雑木林の維持管理が学べるようにどんぐり林公園（富士見町3丁目）で野外実習を中心に構成しました。実際に現地を観察しながら、現在の雑木林の課題点や利用方法など講師と共に考え、今後の維持管理方法や私たちの関わり（運営や利用方法）について探っていきます。また、人と自然の関わりや雑木林の生き物についての知識もしっかりと学びます。

市内の自然に目を向け、生き物の視点に立ち、自然と人との関わりを考え直し、未来を担う子ども達へ自然のすばらしさを伝えていきましょう！

- 定員 30名（要申込み・先着順）
- 申込み・問合せ：調布市環境部環境保全課

●雑木林塾 2001年度連続講座の概要

①11月18日(日)	ボランティアが管理している雑木林を訪ね、自然観察や管理作業体験を行います。（市外実習）
②12月2日(日)	どんぐり林公園の雑木林の観察を通して課題点をさぐり、今後の管理計画づくりを行います。
③12月22日(土)	雑木林のシステムや人と自然の関わりについて学びます。午後は、現地で管理作業体験を行います。
④1月20日(日)	人と自然の付き合い方、自然への接し方を考え、雑木林を維持することで育まれてきた生き物について学びます。（終日座学）
⑤2月17日(日)	現地の観察、維持管理作業を行い、受講生が主催する雑木林塾のイベント計画、準備を行います。
⑥3月17日(日)	この講座を通して学んだことを近隣の住民へ知ってもらうために、現地でイベントを開催します。参加者と共に雑木林の将来について楽しく考えます。

※講座の時間は、10:00～16:00です。

◆ついに入間町樹林地の保全作業に取り組めます！

市所有の入間町1丁目の崖線樹林地を多様な生き物が住む雑木林として保全していくために、入間・樹林地の会が活動を始めて1年になります。この間、およそ月1回の割合で世話人会や将来像を話し合うワークショップ、生き物（主に植物）の情報収集のための現地調査、また周辺の樹林地や多摩丘陵の雑木林の見学など様々な活動を行ってきました。

これらの活動を踏まえ、世話人会で保全活動に向けた基本方針を検討してきました。そして、9月30日(日)周辺樹林地の観察会の後、入間町地域福祉センターにて基本方針について参加者と話し合い、下記のことを合意しました。そして、その方針に従い10月21日(日)現地調査の際に、来春までの保全作業として伐採する数本の樹木が選定されました。

ついに、12月6日(日)に具体的な保全作業（清掃、樹木の伐採等）を開始します。今期は2回の作業が予定され、作業量としてはわずかではありますが、「落葉樹中心の人が行きたくなる林」に向けて徐々に作業を進めていきます。（2面に関連）

■みんなで合意した意見

- ①樹林地に継続してかわる。②落葉樹中心の人の行きたくなる林を目標にする。③当分は平地のみ保全作業を進める。④生き物への配慮を考え少しずつ作業する。⑤具体的な方向性は世話人会で検討していく。



～10月21日(日)現地調査の様子～
12月6日(日)は保全作業を実施します。詳しくは次号で案内します。

一 内 容 一

- 雑木林塾連続講座開催！
- 入間町樹林地の保全!!
- 調布市内での活動報告
- 連絡会議議事要旨
- イベント情報

調布市内での活動報告！

入間・樹林の会

9月30日(日)に周辺樹林地の見学会が、また10月21日(日)現地調査が行われました。見学会では、樹林地と隣接している NTT 東日本研修センター内の雑木林の見学を行い、参加者は花をつけた草や普段お目にかかれない木を見つけては、写真を撮ったり、名前を覚えたりしていました。樹林地と雑木林との比較を行い、保全の必要性を理解していたようです。その後、話し合いをもち、樹林地をどのように管理していくか、世話人会からの提案をもとに意見交換がなされ、いくつかの合意を見出すことができました。(1面参照)

現地調査では、8カ所の方形枠の植生調査と前述の合意をもとに保全作業の方法、伐採する高木の選定などを現場で話し合い決定しました。まだ樹林地の紅葉も落葉も本格化していない林の木々は、見上げると折り重なって青々とした美しさを保っていました。11月の世話人会を経て12月16日(日)に現地で管理作業を始めます。



調査枠の様子と樹林地のゴミ
(右上：ビールの空き缶、右下：テレビ)

こどもエコクラブ

10月14日(日)神奈川県三浦半島荒崎海岸で、『磯の生き物観察会』を行いました。

市役所に朝7時と集合時間が早かったにもかかわらず、総勢27人誰一人遅刻もせずに集まりました。子ども達は10月とは思えない熱い陽射しのもと、1時間半以上のバス移動の疲れも全く感じさせず、カニ、ヤドカリ、ウニなどを捕っては嬉しそうに笑顔を見せていました。お母さん方もサポーターの雪野さんが捕ってくるウミウシやミズクラゲを珍しそうに、そして熱心に観察していました。潮が満ちてくる12時位まで観察会は続き、最後はみんなでスケッチをして、捕った生き物は海に戻してあげました。

11月10日(土)には多摩川の川原で『野鳥と自然観察会』を予定しています。たくさんの参加お待ちしております。

環境モニター活動

現在、秋の野草調査を実施しています(詳しくはニュースレターNo.11、P1ご参照)。一般の方々にも調査票をもとに情報提供を求めてご協力を頂いています。この調査もセイタカアワダチソウを最後にほぼ今月一杯で終わりますので、冬の調査対象を次回の世話人会[11月5日(月)]と連絡会[11月12日(月)]でまとめます。地元で目立つ常緑樹や落葉樹の冬芽などが候補に上がっています。なお、11月から世話人を各班2名程度選出し、司会や書記を各班持ち回りで担当することにしました。

また、11月25日(日)環境モニターがみなさんをガイドする自然観察ウォークを実施します。申込み制となっています。11月5日の市報にも掲載されますのでお申込はお早めに。

ちょうふDE田んぼ日記その6「ミノル式脱穀機」

例年使ってきた脱穀機がいよいよだめになり、知り合いのついでで足踏み式脱穀機と唐箕を手に入れました。脱穀機は神奈川県で昭和3年頃製造されたと思われるミノル式というありがたい型式です。唐箕は粳や豆などとわらくすなどのごみを分別する機械です。いずれもシンプルな構造の機械ですが、農家の方がこれを最初に手に入れたときの感激がいかばかりだったかと思いました。最新式の脱穀機は、唐箕の機能もいっしょになったものですが、原理は変わりません。これらの農機具を考案した人々の勤勉さにあらためて感心してしまいます。

(野川で遊ぶまちづくりの会 尾辻)



第12回連絡会議 議事要旨

●第12回連絡会議の議題

- ① プロジェクト等の情報交換
- ② 全体会に向けた目的の確認
- ③ ワークショップの内容
- ④ その他

日時 平成13年10月8日(木)
18:30~21:30
場所 調布市役所8F 第8会議室
出席者 8名

◆連絡会議で話し合われた内容は…

1. プロジェクト等の情報交換

連絡会議はおもに情報交換の場として開催されています。このニュースレターの活動報告やイベント情報は、その時のものをまとめたものです。(どなたでも参加できます。)

2. 全体会に向けた目的の確認

前回、前々回と議論が紛糾したため、ちょうふ環境市民懇談会の目的の再確認や全体会(翌年2月23日)やワークショップ(10月28日)の位置付けなどを検討した。

- ① 懇談会は何をする場か?…会則の目的より「この会は、市民、事業者、行政のパートナーシップにより、今ある自然を大切にしながら全市的に自然環境を保全・改善・回復し人と自然との多様な関わりを工夫し、自然と共生する調布をつくることを目的とします。」
- ② 全体会は何をする場か?…会の紹介より「懇談会が行うさまざまな活動を、より多くの方々に知っていただく場として開催します。プロジェクトの結果(経過)報告や自然環境に対する課題の抽出、提案等行っています。」
- ③ ワークショップは何を目的に開催するのか?…課題の抽出と問題の共有化を行う場。
- ④ 今やっている作業は何のためか?…調布の自然を良くして行くために課題を抽出している。
- ⑤ いつまでに何をどうまとめるか?…全体会までに整理し、具体的な行動につなげる。

これらを確認したあとに、中間ワークショップの位置付けは以下のように確認された。

- ・はじめて来た人たちにもこれまでの取組みがわかり、身近な環境について良いところや課題点を出し合い共有していく場。

3. ワークショップの内容

ワークショップの内容は、前述の位置付けから以下のことを実施することとなった。

絵っせい：窓からの風景

今年も佐須の田んぼに稔りの秋がきました。今年は春先こそ、そこそこの雨に恵まれ、田植えに期待を持たせました。しかし、どうしたことかその後降雨に恵まれず、田植えができたのは佐須街道以北に限られ、南で田植えができたのはわずか1枚にすぎませんでした。いかに水田耕作が雨と水に頼っているのか痛感させられました。調布では多摩川は大河であり、それゆえに高低差から水田への取水をすることはできませんでした。国分寺崖線、府中崖線からの湧水と野川、仙川などの小河川からの水と、湿地帯での耕作に頼っていました。今も残される谷戸と稔りのオレンジ色の風景は、弥生時代からのものであり、私たちに懐かしさと安らぎを覚えさせます。この風景は水田と一体となった里

山の林と森が与えてくれたものでした。実はこうした関係は、縄文時代から連綿と受け継がれたものなのです。近隣の自然に働きかけ、その成果を元に暮らしを続けるスタイルがこの数十年前まで続いていたのです。刈り取られた稲と谷戸の風景に縄文の暮らしを重ねることが必要です。



佐須の谷戸と実りの秋

- ・プロジェクト等の活動紹介
- ・ワークショップのテーマは、調布の好きなどころ、悪いところを地域ごとにわかれて話し合う。
- ・地域は、環境モニターが線引きしているもの(東西南北)を利用する。
- ・好きな地域で自由に議論するが、他の地域にも意見がだせるように、ワークショップに入る前に付せんて意見を出し合う。
- ・ワークショップでは、参加者の意見を共有することを第1の目的に進める。意見の集約についてはテーブルコーディネータが進行を見て判断する。
- ・これまで連絡会議で話し合ってきたものは、今回のワークショップで提起しない。
- ・ワークショップ後の進め方については、次回の連絡会議(11月15日(木))で話し合う。

4. その他

- ・プロジェクト等に関わる会議の日程

日時	場所	活動名(主な内容)
11月5日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	環境モニター 世話人会 ガイドウォークの行程や冬の調査 について話合います。
11月7日(水) 10:00~12:30	京王線山川駅 改札口	環境モニター ガイドウォーク下見 ガイドウォークのコースを実踏して 検討します。
11月11日(日) 13:00~16:00	実篤公園	勉強会(環境保全課主催) 園内の自然観察や市民と自然の関 わりについて学びます。
11月12日(月) 18:30~20:30	市役所8階 第8会議室	環境モニター 連絡会 ガイドウォークの役割分担や冬の 調査について話合います。
11月26日(月) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	雑木林塾 運営会議 雑木林塾の今後の運営について話 合います。
11月29日(木) 18:30~20:30	市役所4階 第4会議室	入間・樹林の会 世話人会 12月に行われる保全作業の内容 について話合います。

参加しませんか？

● 環境リーダー ステップアップ講習会

日 時：11月11日（日）13:00～16:00

集合場所：武者小路実篤記念館入口

講 師：富田 広 氏

定 員：30名（要申込み）

参加資格：どなたでも

参加費：無料

持ち物：筆記用具など

環境保全課では、講座や学習活動の支援を通して、市域の自然環境を活かす環境リーダーを育成してきました。今回は、ステップアップ講習会として実篤公園での自然観察を通して市民と自然の関わり、学校と地域と自然の関わりについて学びます。（申込み・問合せ 環境部環境保全課まで）

● ガイドウォーク（定員 30名）

日 時：11月25日（日）10:00～12:00

集合場所：仙川駅改札口

参加費：無料

環境モニターがみなさんをガイドする自然観察ウォークを実施します。今回は仙川や緑が丘周辺です。2時間程度を予定しています。（申込み・問合せ 環境部環境保全課まで）

● 里山・野川探検隊

日 時：11月25日（月・祝）10:00から

集合場所：深大寺自然広場 野草園前

対 象：野川・里山探検隊、「ニュースタ」配布対象者

持ち物：弁当、水筒、タオルなど

どんぐりを使って色々な工作を行います。

（申込み・問合せ 環境部環境保全課まで）

その他の情報

■ 里山の自然を守り育てる

里山の研究で有名な倉本先生や、神奈川自然環境センターの中川さんらの研究発表があり、生態学研究者として有名な鷺谷先生が講演もしていただきます。研究発表、講演後に総合討論です。

日 時：11月19日（月）10:00～17:00

場 所：JAホール（千代田区大手町）

参加費：無料

詳細はホームページに載っています

アドレス <http://www.nihonseimei-zaidan.or.jp>

■ 親子で楽しむ！生き物観察

～都会の中の豊かな自然～

都市にある公園は、小さな生き物にとってのオアシスです。今回は近隣の公園へ行き、自然を「感じる」、「考える」、そして「発見する」コツと楽しさをご紹介します。自然をもっと身近に感じられるはず…。

日 時：11月3日（土）15:00から

集合場所：パタゴニア東京・目白

要予約：定員 親子 15組 30名

申込み・問合せ：パタゴニア東京・目白

TEL03-5996-0905

■ 音作り！音遊び

～楽器作りワークショップ～

森の中で楽器作りしたい人は誰でもOK！です。秋の自然をゆっくりと感じながら、森の中で自然の素材をつかって、楽器作りワークショップを行います。

日 時：11月17日（土）・18日（日）（1泊）

集 合：11月17日 10:00 JR奥多摩駅

解 散：11月18日 12:00 予定

場 所：山のふるさと村

ゲスト：多田広巳さん（創作楽工家&奏者）

ファシリテーター：小笠原あやさん（自然教育研究センター）

参加費：大人18,000円 小学生10,000円

定 員：20名（申込み多数の場合は抽選）

申込み方法：氏名、住所、性別、年齢、電話番号を明記の上、90円切手を同封して封書にて下記までお申込み下さい。

申込み・問合せ：山のふるさと村ビジターセンター自然教室係
〒198-0225 西多摩郡奥多摩町川野
1740

環境市民懇談会が設立されて1周年です。今後も活動を充実させていきます。多くの方々の参加をお待ちしています！

ちょうふ環境市民懇談会は、調布市内の自然環境を保全・改善・回復していくために、「話し合いの場や、活動の交流・支援、人材育成、啓発活動、情報の収集や発信」といった活動を、パートナーシップをもとに進めていくことを目的に設立されました。様々な環境保全活動にご協力いただけるボランティアを募集しています。

発行：ちょうふ環境市民懇談会

自然環境の学習や保全に関する情報を募集しています。また、様々なお便りも募集しています。